

乗船履歴証明書（遊漁船用）

（ 受講者 氏名 ） は、遊漁船の船長として、下記のとおり 3 月以上の乗船履歴を有することに相違ないことを証明します。

〇〇〇〇年 〇月 〇日
 証明者の氏名 〇〇漁業協同組合
 組合長 〇〇〇〇
 住所 宮城県〇〇〇〇〇
 連絡先 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

船舶名	総トン数	遊漁船業者の氏名又は名称 (遊漁船業者登録番号)	乗船した期間
〇〇丸	19トン	〇〇 〇〇 (〇〇 第〇〇〇〇号)	2000年4月1日から 2001年3月31日まで
		()	年 月 日から 年 月 日まで
		()	年 月 日から 年 月 日まで
期間の合計			1年 月 日

備 考

- この証明書は、被証明者 1 人について、証明者別に作成すること。
- 被証明者が船長として雇用されていることがわかる船員手帳又は船員法施行規則第 39 条第 1 項の規定による地方運輸局長の船員手帳記載事項証明書又は都道府県に届け出ている業務規程別表 1（被証明者が船長として記載されているものに限る。）の写し等を添付すること。

移行講習の実技を免除するためには
 この用紙（乗船履歴証明書（遊漁船用））及び
 下記（赤枠）のいずれかの証明書が必ず必要となります。

- 以下に掲げるいずれかの書類
- 船員手帳又は船員手帳記載事項証明書の写し
 - ~~使用者である船舶所有者から交付された労働条件通知書
 （小型旅客船の船長として乗船履歴を有する者）~~
 - 使用者である遊漁船事業者が都道府県に届け出た業務規程の別表 1 の写し
 （遊漁船の船長として乗船した履歴を有する者）
 - 海上運送法に基づく事業許可書、事業開始届出書、運航実績報告の写し等
 小型船舶の船長として乗船したことが分かる書類
 （上記①～③のいずれの書類による証明ができない者）